

ぶな

2025年11月号

NO. 560



滋賀県勤労者山岳連盟 比良雪稜会

今年の山を振り返って

Y 口 Y 生

たまたま友人に誘われて雪陵会に入って 30 年近くになる。

今年は 4 月上旬、和歌山に行った。桜と桃の花が満開の時に、紀三井寺の裏山の名草山に登った。古い大きな桜の木がたくさんあった。次の日は百合山を歩いた後に、紀ノ川沿いの桃畑のピンクの花と菜の花の美しい畑を眺めながら春を楽しんだ。そして友ヶ島にも船で渡り、島の中を歩いた。この島には戦争遺構が多く残っていた。

5 月 21 日からは佐渡に行った。ドンデン山から金北山、そして白雲台まで縦走した。島には鹿がいなくて、花がたくさん残っていて感動した。この頃、三週間だけ土・日に“かんぞうライナー”というバスが走る。島の北の方の二ツ亀→大野亀まで海岸沿いに歩いた。かんぞう、ゆり、ハマナス等いろんな花が美しかった。

9 月の末頃には月山、蔵王、安達太良山の三山を登ることができた。月山へは和邇駅 7:00 位の JR の電車に乗れば山形には 14:00 位に着き、姥沢に夕方 16:00 過ぎに着くことが出来る。宿は“ロッジやつなみ”という所がとても良かった。きれいな宿でお料理もおいしかった。

また、蔵王は山形駅の一つ手前にかみのやま温泉という駅がある。そこから 9:20 発のバスは無料で刈田駐車場まで乗せてくれた。リフトに乗れば降りてすぐに御釜が見えた。私達は刈田岳から熊野岳を越えて地藏山まで歩いた。安達太良山は山頂の奥に大きなお釜があるので矢筈ヶ森の方に少し行ってみれば良いと思う。下山してから奥岳温泉に入り、山と温泉を堪能した。

今年はいろんな所に行けて、仲間と家族に心から感謝したい。
ありがとう！



もくじ

□巻頭言	1
□もくじ	2
□例会山行案内	
額井岳（11月23日）	3
小野村割岳（11月30日）	4
大仏鉄道跡（12月6日）	5
□全国連盟報告 第27回自然保護講座 in 青森	6～9
□例会（個人）山行報告	
小谷山・虎御前山（9月28日）	10～12
荒地山・東お多福山（10月11日）	13～15
登山祭典兼秋の野点山行（10月13日）	16～18
大峰山脈（10月17～19日）	19～20
□部会報告	
第7回運営委員会報告（10月14日）	21～23
第 回リーダー一部会報告（10月21日）	24～25
2025年11月予定表	26

表紙写真
「立山別山・真砂岳方面を観る」
2023.09.30

撮影：K 嶋 F 男

《例会案内》

額井岳(812m)

大和高原の南、山の辺の里近くに額井火山群の主峰・額井岳があります。大和富士の別名で親しまれるように、富士山を思わせる山容をもっています。

山麓は山部赤人の出身地だと伝えられています。万葉集に富士山を歌った赤人は晩年になるとこの地に帰り、「大和富士」と呼ばれる額井岳のふもとで永眠したといわれ、その墓も残っています。

額井岳山頂から北へ続く戒場(かいば)山にかけての尾根筋から木の間越しに、伊賀・曾爾山群から遠く鈴鹿の山々まで見渡せます。近鉄榛原(はいばら)駅からバスで10分ほどの天満台東2丁目が登山口で、山頂までは2時間足らずです。山頂からは稜線伝いに戒場山へ行き、山部赤人の墓を通って下山します。

日時 2025年11月23日(日)

集合 近鉄京都駅改札前 8時

行程 京都 8:11+++9:12 大和八木 9:31+++9:46 榛原 9:53=10:01 天満台東2丁目

天満台東2丁目～十八(いそは)神社～額井岳～サガヒラ山(昼食)～戒場峠～

戒場山～戒長寺～山部赤人の墓～天満台東3丁目

天満台東3丁目＝榛原+++大和八木+++京都(17:50頃)

距離 10km 時間 5時間(含休憩)

レベル ★★☆☆☆ 技術 ★★☆☆☆

装備 昼食・飲料水・雨具・行動食・地図・磁石・ヘッドランプ・その他日帰り装備

担当・申込 I井

締切日 11月17日(月)

中止する場合は、前日22日の12時までにメールにて連絡します。

＜例会山行案内＞

小野村割岳(932m)

京都市左京区の京大芦生研究林に隣接し、[由良川](#)と[桂川](#)の分水嶺にあたる山です。伏条台杉(芦生杉)と呼ばれる巨樹群が山全体に群生しており、生命力あふれる景観を楽しめます。

11月30日(日) 7:00 和邇川河川敷集合

＜コース＞ 和邇川河川敷7:00＝佐々里峠8:30～10:10雷杉～
12:00小野村割岳12:30～(ピストン)～15:30 佐々里峠
＝17:00河川敷解散

＜レベル＞ 体力 ★★☆☆☆ 技術 ★★☆☆☆

＜持ち物＞ 水、昼食、非常食、地図、磁石、雨具、ヘッドライト、
その他日帰り装備

＜申込み先＞ K 藤

＜締め切り＞ 11月24日(月)



井ノ口山の台杉

大仏鉄道遺構めぐり

今から120年ほど前に、「大仏鉄道」が走っていました。大仏鉄道とは、鉄道会社「関西(かんせい)鉄道」の加茂と奈良を結ぶ、わずか9.9kmの路線の愛称です。明治31年4月の開業後、終着駅の「大仏駅」は東大寺大仏殿の最寄り駅として、大いに賑わいました。翌年5月、同社は、大仏駅から奈良駅へ路線を延長し、奈良駅への乗り入れを果たしました。

明治40年8月、加茂駅から木津駅を経て奈良駅へと至る平坦なルートが開通すると、急坂の難所を抱える大仏鉄道は休止となり、同年11月に廃線。わずか9年の歴史に幕を下ろしました。

大仏鉄道は、営業期間が短く、当時の資料も乏しいことから「幻の大仏鉄道」と呼ばれています。

しかし、路線の跡には隧道(川の水や人を通すためのトンネル)や橋台(橋の上部構造の両端を支える構造物)などの遺構が所々に残され、1世紀前の姿を今に伝えています。

日時 2025年12月6日(土)

集合 JR 京都駅奈良線10番乗り場 9時30分

行程 京都 9:36+++10:14 木津 10:28+++10:34 加茂

JR 加茂～ランプ小屋～観音寺橋台～鹿背山橋台～梶ヶ谷隧道～赤橋～井関川橋梁跡～松谷川隧道～鹿川隧道～黒髪山トンネル跡～大仏鉄道記念公園～近鉄奈良駅

近鉄奈良+++ (大和西大寺)+++ 京都(17時頃)

距離 13km 時間 5時間(含休憩)

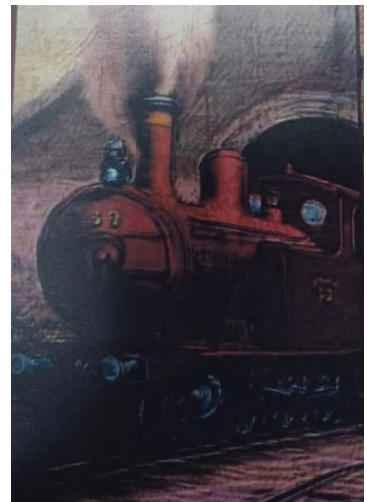
レベル ★☆☆☆☆ 技術 ★☆☆☆☆

装備 昼食・飲料水・雨具・行動食・地図・磁石・ヘッドランプ・その他日帰り装備

担当・申込 I 井

締切日 11月30日(日)

中止する場合は、前日5日の12時までにメールにて連絡します。



<全国連盟報告書> 第 27 回自然保護講座 in 青森

全国自然保護委員 K 藤 H み

日時 2025年9月27日(土)

場所 青森県弘前市岩木青少年スポーツセンター

参加者 46名 ZOOM参加者 14名 合計 60名

13:30 いわき青少年スポーツセンターにて、開会。

主幹挨拶 清野芳樹(青森県連会長)

主催挨拶 山本尚徳(全国自然保護委員長)

13:42~17:30

1) 風力発電秋田県の現状について 元秋田県連所属のMY氏

秋田県では現在小型を除くと現在307基の陸上風力発電と33基の洋上風力発電が稼働中。さらに計画中の陸上風力発電70基と巨大洋上発電が65基ある。計画地の離岸距離は1~5kmであり、ヨーロッパで稼働している洋上風力発電 20~50kmに

比較すると極めて近く、今後、さらなる健康被害が懸念される。

2) 風力発電による被害報告 元秋田県連所属のMS氏

自宅は、3つの風力発電施設の真ん中辺りに位置しており、南西に7基、西に1基、北東に2基、それぞれ2kmほど離れた場所に建っている。風車から発する低周波が原因と思われる症状は睡眠障害、動悸が起こる血圧が上がる。左胸辺りが痛む。不整脈、心臓が痛む。頭痛など多岐に及ぶ。主に秋から冬にかけて風が強いときに症状が出やすい。そこで、「体調不良及び睡眠障害と風力発電施設の稼働状況の相関表」を作成した。これが、新聞記事になったことを契機に全国再エネ問題研究会を通して長崎県の医師の目に留まり、「風車病」であるとの診断書を書いてもらった。これを基に事業者と再度交渉した結果、風力発電施設の夜間の稼働停止が実現しそうだ。これを機に、「風車病」を物理学者と医師が連携して風力発電の低周波が人体に及ぼす影響を解明するプロジェクトが今後始まっていく。

14:40~15:30

記念講演「風力発電が稼働した地域での課題」(要旨)

講師: 佐々木邦夫(風力発電を地域から考える全国協議会共同代表)

佐々木講師の在住する北海道稚内市だけでも118基もの風力発電施設がある。さらに、北海道の日本海側の石狩市沖と積丹半島から南の海域では、洋上風力発電施設が海上にびっしりと計画されている。現在、稼働中の7ものと合せると最大で約2000基にもものぼる。陸上風力発電施設も計画しているものも全て含めると2,453基になる。これらの巨大な風力発電による次の様な問題が提起されている。

① 風力騒音による影響

- ② シャドーフリッカーによる影響
- ③ 作業道（管理道）における法面崩壊
- ④ 鳥類への影響（バードストライク）
- ⑤ 魚類への影響（絶滅危惧種）
- ⑥ 航空障害灯による影響

これらの問題に対して、例えば①については環境省の見解は知見がないという理由で「被害が出て、風力発電が原因と特定できない」とある。本来、地域の共有材（山林・水資源）は将来にわたり持続的に受け継いでいくものであるが、現状では少子高齢化などもあり、地域外から来た発電事業者が利益追従の場となっている現状となっている。

15：35～各地方連盟からの報告

- | | |
|-----------------------|-------|
| 1) 岩手県連の自然保護活動の取組について | 岩手県連盟 |
| 2) 宮城県連の自然保護活動の報告 | 宮城県連盟 |
| 3) 北陸新幹線京都伸延計画について | 京都府連盟 |
| 4) ライチョウ目撃報告・グラフ | 大阪府連盟 |
| 5) 風力発電施設の問題に関するレポート | 徳島県連盟 |
| 6) 自然保護講座奈良からの報告 | 奈良県連盟 |
| 7) 滋賀県の風発その後 | 滋賀県連盟 |
| 8) 千葉県より質問 | 千葉県連盟 |

17：40 閉会挨拶(平尾)及び写真撮影

※詳細に興味がある方は、予稿集(PDF)を送りますので、お知らせ下さい。

岩木山(1,625m) 交流登山

日時 2025年9月28日(日) 天気 晴れ

参加者 40名

8：00 いわき青少年スポーツセンター集合、青森県連の方にそれぞれ CL、SL をお願いし、3 班に分けた。

8：10 マイクロバスと自家用車に分乗し出発、津軽岩木スカイラインを走る。
ブナの自然林の中 69ヶ所のカーブが続く有料道路で、なんと開通 60 周年

だそう。

8：40 八合目駐車場着、既に 1,250m。トイレをすまし準備運動をする。

8：50 1 班を先頭に、リフト乗り場横の登山口からよく整備された道を登り始める。

9：05 標高 1,330m あたりで衣服調整。

9：30 鳥ノ海と呼ばれる火口跡（1,470m あたり迫力！）がある所に到着。

小休止。ここはリフト終点からの合流でもある。この先の登山道は、ロープも張ってあり、大きな石がごろごろしている。

9:50 8合目の駐車場を眼下に、岩をよじ登り、ダケカンバが混ざる林を抜け、鳳鳴ヒュッテ避難小屋着。秋田の大館鳳鳴高校の生徒が遭難したのを機に、作られたそうだ。

10:05 山頂手前で灌木に囲まれた平らな場所に出た。小休止。

10:20 山頂到着。三角形の石とコンクリート造りの安全の塔の前で各班毎に写真を撮り、しばし休憩。頂上は広く、岩木山神社の奥宮とおがくずを利用したバイオトイレ、避難小屋がある。360度の見晴らしで、白神山地や八甲田方面の山々が連なっている。

日本海に続く平野に立ち並ぶたくさんの風力発電機が見えたことで、昨日の講演内容が実感できた。

10:45 下山開始。ごつい岩だらけなので、慎重に同じ道に戻る。

12:20 途中休憩を取りながら、八合目駐車場着。

13:00 いわき青少年スポーツセンター着、解散。

予定より少し遅れたが、全員無事下山、地元及び東北各地そして全国からの会員がたくさん参加され、おしゃべりしながらの楽しい交流山行でした。

青森県連の皆様、大変お世話になり、ありがとうございました！！



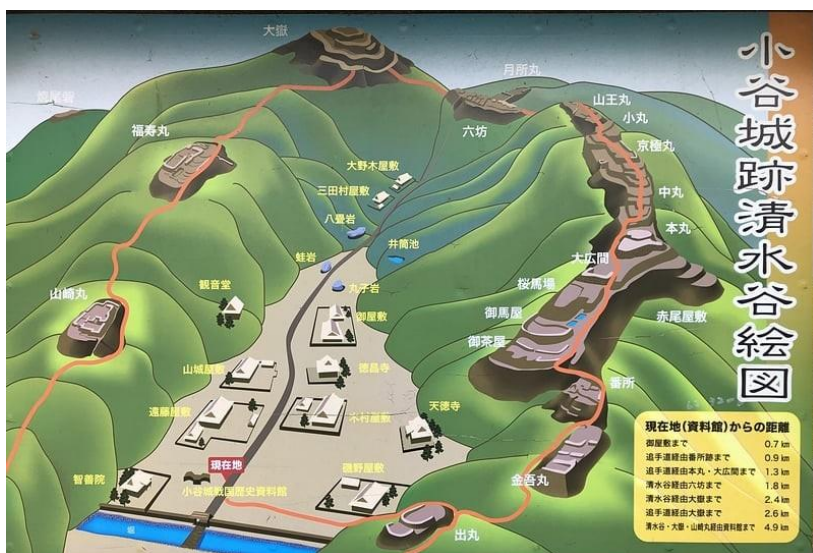
八合目駐車場で集合写真

小谷山（494.6m）・虎御前山（224m）

日 時 : 2025年9月28日(日) 晴れ
参加者 : CL I井、SL K原(写真)、K 藤(記録)、K 林(救急)
F 川、S 田、H 浦、O 村、s 水、G 阿弥 以上10名
行 程 : JR北陸線河毛駅 8:50 集合⇒9:00 出発⇒9:40 小谷山登山口
～間柄峠(望笠峠)～小谷城址～11:15 小谷山(昼食) 12:00
～12:25 福寿丸跡～12:40 山崎丸跡～13:10 虎御前山登山口
～12:30 虎御前山(木下秀吉陣跡)～13:50 織田信長陣跡～
14:10 丹羽長秀陣跡～14:30 登山口～14:45 JR虎姫駅(解散)

今回の小谷山・虎御前山の山行は2年越しの計画、「三度目の正直」でやっと実現した価値のある山行でした。もう実現は無理と半ば諦めていたのですが、辛抱強く待って良かったです。天気は午後から下り坂の予報で少し心配しましたが、雨に降られることもなく、全員無事に下山することができました。リーダーのI井さんには本当に感謝です。大変お世話になりました。

JR北陸線の河毛駅に予定の時刻に全員集合しました。当日朝に1人欠席者が出て、10名の参加になりました。出発の9時頃には一面青空が広がり、とても爽やかな天気でした。小谷山登山口までの道は、のどかな田園風景が広がります。稲穂をいっぱい付けた田んぼと、白いそば畑に挟まれた道を歩きます。所々に彼岸花も咲いていて素晴らしい風景が広がっています。登山口付近では、近々「戦国まつり」が催される模様で、地元の人はその準備に忙しそう





や城に興味のある人にとってはたまらない山行になったことでしょう。

私はNHK大河ドラマで「江〜姫たちの戦国〜」で小谷城の存在を知って、その後「城博士・千田嘉博」の城歩きで更に興味を持ち、一度は登ってみたい山になりました。実際に登ってみて、こんな所に、こんな立派な山城があったこと、またこの急な山道を戦国武将たちが駆け上り、戦を繰り返していたことにも驚きました。しかもたった500年ほど前の出来事で、何か

な様子です。

その前を横切って、いよいよ山登りの開始です。いきなり急登であつという間に汗が始めました。でも時より吹く涼風がとても心地いいです。しばらくすると、背後には田園風景が広がり、その先には琵琶湖が見え、疲れもいっぺんに吹っ飛びました。

途中に「小谷城址」の大きな地図が建っていて、その全容を知ることができました。いくつもの城跡を乗り越えていかなければなりません。所々に「〇〇丸」と書かれた看板があり、その説明書きに目を通しました。歴史



まだ臭いが残っていそうな気になりました。

其々が思い思いに歴史を振り返りながら歩き、予定時刻より少し早めに小谷山山頂に着きました。ゆっくり昼食休憩を取って、12時に下山を開始しました。午後からはもう一つの目的地、虎御前山に向かいました。この山は織田信長が小谷山の浅井長政を攻めた時の前線基地として陣地を築いた場所で、小谷山の様子が一目瞭然見通せる絶好の場所だったことが分かります。この山も登り口は急登で、簡単に敵が攻めて来ることは難しそうです。

途中の案内看板には、聞いた事のある戦国武将の名前が次々に出てきます。「織田信長」をはじめ「木下秀吉」「柴田勝家」「丹



羽長秀」など錚々たるメンバーの陣地が築かれていたようです。

2時半に下山を終え、そこからJR虎姫駅まで歩きました。午後からの天気を心配して、早目の行程になりましたが、雨に降られることもなく全員無事、2時45分に虎姫駅に到着。全行程を終了することになりました。帰りはJR湖西線周りと、琵琶湖線周りに別れて帰りました。

た。

今回の山行は、ただ山に登るだけではなくて、其々が思い思いの考えを巡らしながら、歴史を振り返りつつ歩いた感慨深い一日になりました。



(記録 K 藤)

《一口感想》

” 信長、3人姉妹の時代に戻され、最近読んだ大文字版の’女のたたかい’の小説が思い出された。

コースはところどころに景色を見渡せるところが配置され、素晴らしいコースだった。とはいえ、帰宅後はバタンキューの限界だった。” (F 川)

駅を降りて歩道歩きは暑かったけれど、流石に登山道に入ると風が違う。先週と五度ほど気温が下がって、汗まみれでは無い。

小谷山、虎御前山は、歴史に疎い私でも知っている武将の名前がいっぱい。もし自分が草鞋で山を駆け登って石礫や矢を受けると思うとゾッとする。うん、私は戦国の世は嫌い。 (H 浦)

<例会山行報告> 六甲 荒地山・東お多福山

日 時:2025 年 10 月 11 日(土)

参加者 H 島 S K 藤 H み S 水 M 子 N 村 H 子 N 村 Y 妃子
S 田 H 江

コース 阪急芦屋川駅 9:00～城山登山口 9:25～城山 9:41～鷹尾山 9:58～荒地山 11:09
～なかもみ山 11:47～雨ヶ峠 12:39～東お多福山 13:10～展望ポイント 13:18～東お多福
山登山口 13:45～東おたふく山登山口バス停 13:52

9:00 阪急芦屋川駅集合。 駅は六甲を目指す人々で賑わっていた 天候も曇りで雨
さえ降らなければ良い感じのスタートとなったが蒸し暑い 歩き始めてもう汗だく

最初の目的地の城山・荒地山を目指すも 標識を見逃し 5 分ほど戻り 正規のル
ートを歩き出せた 城山・鷹尾山(標識を見損なう?)登山道は比較的歩き易く神戸の町
を見下ろせる美しい景色が楽しめた

いよいよ岩登り 前が詰まってるようで 少し待つように他の登山者からの伝言。
ストックは邪魔になるとザックに仕舞い いざー挑戦 数々の岩が露出しごつごつし
た巨岩を上がって行く 前者の行く手を追って手ごたえを確認しながら

一步一步前進 一部恐怖に思う箇所も有り 無心に登った 余裕の笑顔でイエー
イ!と写真に収まってる仲間もいて すごいなーと感心。

全員が無事に難関を突破しやれやれです 昼食楽しみに荒地山へ。

ポツリと雨が…たいした事にはならないでしょうとのリーダーの一言に安心

雨が峠で一休み 最終目的の東お多福山を目指し歩き出した 途中のお多福山
草原は ススキの保全・再生途中で看板が掲げられていた

一部の木々は紅葉も始まっており 秋の気配が近づいているなーと感じました

神戸港を見渡し 更には大阪湾・ビル街を一望出来 淡路島も臨める美しい景色
に少しの間浸り 登山口バス停まで

予定していた一番早いバス時刻に間に合い JR 芦屋川駅まで そこで解散となり
ました

(一口感想)

コース途中の岩梯子は難所らしく前のグループが滞っているため右の迂回路を通りましたが、ここも岩が切り立っており初心者の私にとっては無理なのではと不安になりました。

三点確保の説明を聞いて皆さんの声掛けに力を得ながらやっとのことで登りきることが出来ました。

このような場所は思った以上に体力を消費しますね、高山で岩登りされる先輩方の凄さを実感してしまいました。



変化に富んだ行程と大阪や紀伊半島まで見える絶景、忘れられない楽しい山行でした。

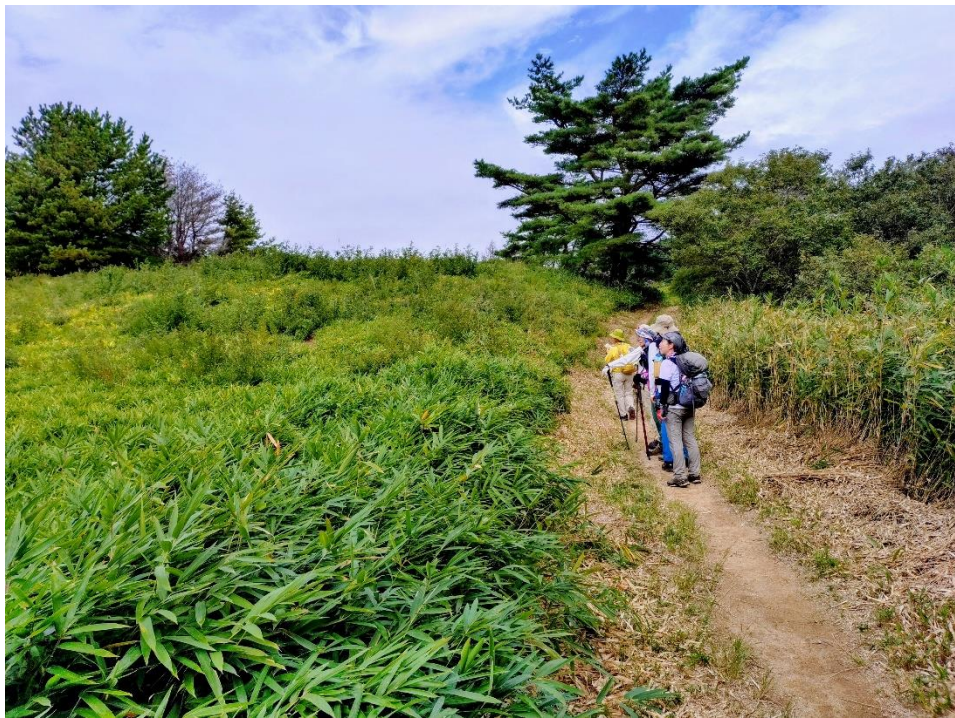
(N村H子)



荒地山山頂



東お多福山山頂



<例会山行報告>

登山祭典 兼 秋の野点山行

高島トレイル 愛発越～乗鞍岳～黒河峠

日程：2025年10月13日（月・祝）

天気：晴れたり曇ったり

参加者

1班：CL N村高 SL K林 T中利 N村久 一般6名 計10名
2班：CL N尾 SL K藤 F川 S田 一般5名 計9名
3班：CL K原 SL N村友 A本 H部美 O田(オフトレイル) 一般5名 計10名
4班：CL I井 SL S水 Y口 K藤 H浦 H浦勝(家族) 一般3名 計9名
会員17名 会員家族1名、他会員1名、一般19名 合計38名

コース：堅田駅 7:05＝小野駅＝和邇駅 7:35＝道の駅追坂峠 8:40＝8:50 愛発越(国境) ストレッチ 9:00 出発 9:10～9:30 ゲレンデ最上部～ 11:30 乗鞍岳 11:50～12:15 電波塔を過ぎた所(昼食・野点) 13:25～15:20 猿ヶ馬場 15:30～15:50 黒河峠 16:00～16:50 マキノ林道入口＝マキノピックランド＝ 19:20 和邇駅＝小野駅＝堅田駅

堅田駅で一般の方1名がバスに乗り遅れたが、電車で追いかけて和邇駅で無事合流

出来た。バスの中では西村会長の挨拶、一般参加者にコースの説明、各参加者の所属班、会報誌・地図・名札等の



変形したブナの木



スキー場最上部小休止

配布を行う。道の駅追坂峠で福井県美浜町から参加のT田夫妻が乗車し、全員揃う。定刻に愛発越(国境)に到着した。いつものように柔軟体操を行い、さっそく1班から順次出発。

ゲレンデの急登は登り初めのこともあり、皆きつそう

であったが、トップがゆっくり歩いたお陰で遅れる人もなく全員まとまって登りきり、一休みした。会員は年齢が上がり、他方一般参加者は元気な方々で丁度バランスがとれたようだ。さらに木立の中を 15 分ほど登り、尾根に出ると琵琶湖側の展望が開け、出発から 1 時間程となったところで休憩をとった。周りはブナ林となり敦賀湾と琵琶湖が眺められ、気持ちよく進む。このあたりはドカ雪なのかブナの幹が急にくにゃくにゃと曲がりながら上に伸びるような様子になっている。少しの地形差で風や雪の降り方が異なることが想像されるとともに冬の厳しさが忍ばれる。程なく乗鞍岳の頂上に至るが狭くてはっきりしない。一応班ごとに記念写真を撮った。この辺りから電波塔手前までサルトリイバラが多く、進路にはみ出し邪魔している。トゲが危険なため 先頭が準備していた剪定バサミで切り払うがかなり時間をロスした。さらに進み、電波塔を過ぎたところの広場にほぼ定刻に到着した。太陽も出てきて、ススキもちょうど満開、さらに琵琶湖も雨上がりではっきり眺められた。素晴らしい環境で昼食をとり、続いて恒例の野点となった。



ススキ満開 カメラマンを除き全員揃って

最後にススキと琵琶湖を背景に全員で写真を撮り、13:20 出発。起伏は少しあるが、尾根道を右に敦賀湾、左に琵琶湖の遠景、ブナ林、ススキ、さらに高島トレイルの尾根の山々など愛でながら順調に進む。登山道も落ち葉で歩きやすい。芦原岳を過ぎた頃から関電の送電線メンテ用路の階段を標高 200m ほど下る。ここは登らなくて

良かったと思いながらさらに 1 時間半下り、猿ヶ馬場で休憩をとった。さらに 30 分ほど下りが続きマキノ林道に出た。黒河峠である。トイレがあり休憩をとる。そこからは 1 時間程林道をひたすら歩き、バスが待つ林道入口に全員ほぼまとまって到着した。帰路、マキノピックランドでトイレ休憩。ここで福井の T 田夫妻とお別れする。今回の山行は事故なく、体調を崩した人、遅れた人等も全くなく、さらに天気にも恵まれ、最高の野点山行だった。愛発越にバス到着時 登山者 1 名を見かけただけで、それ以外誰にも出会わず、中央分水嶺高島トレイルは我々の貸切であった。（記録報告 F 川）



落ち葉を踏み込むブナ林の
尾根縦走路

〈一口感想〉

今回、サポート役に当たってしまいました。誰か怪我でもしたらどうしよう？
何とか山は下りたとしても駅が遠い。タクシーだって何処から呼べばいいの！
よく見れば秋本さんの名前。うん、急に大船に乗った気分。役立たずですみません。
全員無事下山。ほっとしました。 H 浦 A 子

美しいブナ林の中を歩くことが出来て気持ちがスッキリしました。
会員以外の方々とも交流できて有意義でした。 N 村 H 子

鏡のような湖面と、遙か遠くの敦賀湾を見ながら幸せな気持ちで歩くことができました。
秋の気配を感じながらいただくお茶の美味しかったこと！ 会員の皆様には大変
お世話になりました。ありがとうございました。 O 崎 H み(一般)

絶好の山日和、清々しいブナ林を歩いて爽快でした。山頂で頂くお抹茶はいつものこ
とながら格別です。次回も楽しみにしています！ M 吉 H 子(一般)

夫婦だけではなかなか歩けないルート、落ち葉をサクサク歩きながら どんどん気持
が浄化されていき 気持ちの良い山でした。
みんなに仲良くして頂けて幸せでした。抹茶も最高に美味しかったです。今だに余韻
が残っていて 思い出しては笑顔になっています。 T 田 M 樹・E 理(一般)

会長が登山道を通りやすく 先導してくれたので快適な登山でした。 H 本 A 美(一般)



〈個人山行報告〉

大峰山脈 釈迦ヶ岳・大天井ヶ岳

日時 ; 2025 年 10 月 17 日～19 日

参加者 ; CL H 島・SL T 中利・H 浦・S 水

(1 日目) 太尾登山口～釈迦ヶ岳往復コース

早朝 4 時 30 分堅田出発。太尾登山口駐車場に 9 時 30 分に到着しました。ブナの林にミヤコザサの草原、展望の良い尾根道をゆっくり登る。釈迦ヶ岳山頂からは北には八経ヶ岳～孔雀岳へ続く大峯奥崖道南部の山々が望め、南に転ずれば大日岳から続く北部奥崖道の山々が続きます。

大パノラマに感激の時を過ごしました。14 時 30 分下山。谷瀬つり橋オートキャンプ場で小屋泊。焼きそばと焼き芋の夕食。



釈迦ヶ岳目指して



釈迦ヶ岳山頂で釈迦ポーズ

(2 日目) 五番関～大天井ヶ岳往復コース

その長さ (297.7m)、高さ (54m) から日本一と言われている谷瀬の吊橋を観光した後、山深い道を五番関登山口まで走行。登山口から奥駆道出合いの女人結界門を右手に見て大天井ヶ岳へ向かう。盆栽のような杉の木、ブナの尾根道、岩場を超えて大天井ヶ岳山頂に到着。展望はなかったものの山頂に立つことができました。洞川温泉入浴、散策とまったりした後、洞川キャンプ場でキャビン泊。マッコリ、赤ワインを頂きながらおでん・リゾットで夕食を楽しみました。

(H 島 : 記)



大天井ヶ岳山頂



奥崖道を往く

(一口感想)

お天気に翻弄されるも金曜は全国的に晴れとの事で夜明け前に滋賀を出発、9:30 には登山口。気持ちの良い木立ちの中を歩き、まるで自然公園みたいと言い合うも最後の15分はゼィゼィ喘ぎながらやっと到着。最高のロケーション。翌日も大天井ヶ岳に登ることが出来ラッキーでした。

宿の手配や運転、食担、全て男性陣にお世話になりました。

これからもよろしくです (ごめん)。 H 浦

2025 年度第 7 回 運営委員会報告書

日時：10/14（火）19:00～20:30

場所：比良雪稜会事務局

出席：N 村高、A 本、N 野、S 田（記録）、K 林、K 藤、H 島、N 村友、F 野、K 藤、
S 水、K 嶋、
欠席：I 東、H 野

1. 登山祭典（秋の野点山行）（10/13 月・祝）の報告

N 村会長より報告

- ・全員で38名の参加(会員17名、会員家族1名、他会1名、一般19名)
- ・堅田駅で一般参加の1名がバスに乗り遅れたが、和邇駅で合流出来た
- ・天気回復傾向に有り、マキノ辺りでは晴となり、予想以上の天候に安堵する
- ・怪我、事故等も無く無事に下山 想定より30分程遅れてしまったが多数数の為トイレ等で時間を要するので仕方ない
- ・昼食及び野点は最高のロケーションで天候にも恵まれた
- ・野点の湯も豊富、熱く美味しかったと喜ばれた
- ・中央分水嶺高島トレイルでは琵琶湖はもとより 敦賀湾も見ることが出来、幹肌の美しいブナ林は最高に癒される歩行となった
- ・秋の気配、ススキも良かった
- ・帰りの渋滞はいつもの事ながら仕方なかった

《反省点》

- ・申し込み受付時点でバス乗車場所を把握した方がよい
- ・堅田駅集合は改札口付近で案内板を表示して誘導するのが良い
- ・各班 CL・SL は腕章をつけた方が分かり易くて良いのではないかな？
- ・縦走路(特に乗鞍岳～電波塔間)にサルトリイバラの枝(蔓)が沢山はみ出し、トゲが危険なため 先頭が剪定バサミで伐採するのにかなり時間を要した
下見時、持参のノコギリで少しは処理したが、ノコギリでは処理しにくく剪定バサミが必要であった。

入会しそうな人が数名いた 内1人はHPをきっかけに申し込みをされた
SNS等を活用して入会を呼び掛けるのも良い方法
一般参加の数名にファーストエイド講習会の案内を渡し、参加を呼びかける

★K 嶋さんより参加者全員に差し入れがあった。 感謝です。

2. 飲み水水質調査兼放射線測定山行について

1) 日程：11/3（月・祝）

会報への案内原稿：10月号で案内済（近藤より）

2) 採水場所について

①コース：白滝谷登山口、栗原登山口、荒川峠道、金毘羅道 CL：N 村友

②コース：八雲ヶ原(沢水)、正面谷 CL：K 藤

3) 放射線測定は②コースで実施 測定器の手配：N 村友 K 藤：受取済み

4) 検査会社：エスク横浜分析センター

検査申込：西村高が今週手配実施

申し込み締め切り 10月27日 自然保護担当 K 藤まで

3. 各担当より

- ・リーダー部（技術アップ）、遭難対策、会計、機関誌、HP、事務局 は無し
- ・自然保護：青森で行われた全国自然保護集会には60名の参加者。40名の交流山行参加あり、大成功と言える。
ズームの音声視聴者に届きにくかった。今後検討が必要。
- ・労山基金：オンライン講習会は、各自で申し込む。

4. 県連報告（F 野）

1) 第8回 ZOOM 理事会(10/8)の議事録は県連ニュース 11月号に掲載予定

2) 議題1. 登山祭典 8コース 5日間設定

- ・チラシ 400 枚の配布 雪稜会、市民活動センター、大阪のロッジ

議題2. ファーストエイド講習会（11/8. 9）雪稜会より6名の参加有り

- ・場所 昨年と同様に皇子が丘公園、雨天の場合は大津ふれあいプラザ
- ・11/8 は基礎編、11/9 は発展編
- ・労山会員を対象として参加費無料。定員に満たない場合は、一般募集（参加費 1,000 円）。

議題3. バリエーション初級登山教室

受講生：5名（山友会3名、OTに2名入会）

議題4. 平和大行進について

- ・滋賀労山旗を発注。同時に「平和と登山」滋賀県連と明記したナイロン製幟を10枚発注し、11/12の代表者会議か来期の総会時に各会に配布予定。

議題5. 清掃登山報告書 No.6 について

原稿がそろったので、編集委員を立ち上げて検討する事を提案した。T 永会長を中心に、機関紙部の加藤理事と清水理事に編集担当を依頼する。

冊子を作成するに当り、原稿はすでに出来ているので、組み立てをどうするか？プリントアウトして編集するのが良いという意見あり。

K 藤氏が時間を要するが、単独で編集を任せることにほぼ決まった。

12月の運営委員会で出来上がった原稿を運営委員で確認する事が決まった。

3) 各部からの報告

機関紙部：県連ニュース 11月号のリレーエッセイ・写真担当は雪稜会

自然保護部：第27回全国登山者自然保護講座 in 青森 9/27(土)～28(日)
に雪稜会近藤が参加

リモート参加：M内事務局長

感想：会場とリモートとの進め方が不慣れなのが目立った。

4) その他

第19回全国登山研究集会 in 大阪 11/15-16 全国連盟に直接申し込み
(CCで県連宛)

雪稜会より近藤が申し込み 分科会③自然保護

5) 第1回代表者会議と第9回理事会を11/12(水) 18:00～20:50 対面会議で
開催予定

5. その他

- 交通費は40円/km(11月より)です。10/14 ガソリン価格171円のため
- 会員動向；現会員数38名。
- 県連の事務所として会議室を利用している 市民活動センターが閉鎖されようとしている。

これに反対する署名を集めるメールを運営委員に送付したが、募金等の依頼メールが来るため署名を躊躇した。10月中に署名を集める必要があるので、印刷した紙に署名して集めることも検討する。

次回の2025年度第8回運営委員会は11月11日(火) 19:00～行います。

《第5回 リーダー部会議事録》

日 時 10月21日(火) 19:00～

場 所 比良雪稜会事務所

出席者 K 嶋・H 野・N 村(高)・N 野・H 島・N 尾・H 部・K 藤・I 井・S 水・
N 村(友)

議題1 例会実施状況（ヒヤリハット）

- ・ 笹間ヶ岳(8/24)：特になし
- ・ 織山(9/7)：特になし
- ・ 天狗岳(9/14-15)：中止(天候不良)
- ・ 小谷山(9/28)：特になし
- ・ 荒地山(10/11)：特になし
- ・ 愛発越～黒河峠～黒河峠(10/13)：特になし
(登山道にサルトリイバラが多かったので先頭は除去に時間がかかった。)
- ・ 赤坂山～寒風峠(10/19)：中止

議題2 11月～2月の例会計画

開 催 日		山域・コース	テーマ・内容・	担当 者	レベル	備 考
11月	11/1(土)	高島トレイル 三国峠	紅葉	H島	体力 ★★★☆☆ 技術 ★★★☆☆	
	11/3(月・祝)	①白滝谷コース	飲み水水質調査	N村	体力 ★★★☆☆ 技術 ★★★☆☆	
	11/3(月・祝)	②八雲ヶ原コース	飲み水水質調査 兼放射線測定	K藤	体力 ★★★★★ 技術 ★★★☆☆	
	11/16(日)	箕作山	東近江トレイル ②	K原	体力 ★★★☆☆ 技術 ★☆☆☆☆	
	11/23(日・祝)	額井岳	大和富士 (関西百名山)	I井	体力 ★★★☆☆ 技術 ★★★☆☆	
	11/30(日)	小野村割岳	台杉	K藤	体力 ★★★☆☆ 技術 ★★★☆☆	
12月	12/6(土)	大仏鉄道跡	廃線跡散策	I井	体力 ★☆☆☆☆ 技術 ★☆☆☆☆	
	12/7(日)	菊水山	六甲山系 (マイナールート)	N尾	体力 ★★★★★ 技術 ★★★★★	
	12/13(土)	途中峰	県境の山 (忘年山行)	H島	体力 ★★★☆☆ 技術 ★★★★★	
1月	1/12(月・祝)	泉涌寺	七福神めぐり	I井	体力 ★☆☆☆☆ 技術 ★☆☆☆☆	

開催日		山域・コース	テーマ・内容・	担当者	レベル	備考
	1/18(日)	筆捨山	鈴鹿	H島	体力 ★★☆☆☆ 技術 ★★☆☆☆	
					体力 ☆☆☆☆☆ 技術 ☆☆☆☆☆	
2月	2/8(日)	高見山	樹氷	H島	体力 ★★★★★ 技術 ★★★★★	
	2/22(日)	奥島山～八幡山	湖東の山	N尾	体力 ★★★★★ 技術 ★★☆☆☆	
					体力 ☆☆☆☆☆ 技術 ☆☆☆☆☆	

議題3 その他

次回のリーダー部会議は、12月16日(火)19:00からの予定です。



2025年11月予定表

1	土	例会山行 三国峠(高島トレイル)	19	水	
2	日		20	木	
3	祝月	飲み水水質調査・放射線測定山行 (南比良2コース)	21	金	
4	火		22	土	「ふな」原稿締切
5	水		23	日	例会山行 額井岳(大和富士)
6	木		24	月	
7	金		25	火	
8	土		26	水	
9	日		27	木	
10	月		28	金	
11	火	第8回運営委員会	29	土	
12	水		30	日	例会山行 小野村割岳(台杉)
13	木		編集後記		
14	金				
15	土				
16	日	例会山行 箕作山(東近江トレイル②)			
17	月				
18	火				
12月の予定					
6	土	例会山行 大仏鉄道跡(廃線跡散策)			
7	日	例会山行 菊水山(六甲山系)			
13	土	例会山行 途中峰(忘年山行・県境の山)			
今月号と来月号の当番					



滋賀県勤労者山岳連盟

比 良 雪 稜 会

滋賀県大津市和邇今宿 712-1 西村方

TEL&FAX 077-594-0454

E-mail kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp

HP <https://aquafoal39.sakura.ne.jp>